

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年5月30日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

6.2 行動まであと3日 500人のパレードを成功させましょう！

一体改革阻止！ 広がる学習、署名宣伝、議員要請！

一体改革阻止の運動が日増しに広がり、反対の世論も広がっています。3日後に迫ったアピール行動を500人以上の参加で成功させ、一体改悪の本質を伝え、国民の世論と運動で、改悪を阻止させましょう。

「肩車型」社会は誤り 政府も認める

国会論戦では、政府の広報なども使って1人の高齢者を支える現役世代の人数が減るため「胴上げ型」から「騎馬戦型」へ、さらに「肩車型」の社会になり消費税増税が必要との説明が論戦に。共産党の塩川議員は『現役世代』に支えられているのは『高齢者』だけでなく、全人口を支えている。世代間対立をおおる有害な議論はやめるべきだ」と追求。しかも「急増する社会保障給付をみんなで支えます」としながら企業負担が出てこないと指摘。小宮山厚労相も、労働力人口と全人口の比率は将来にわたって変わらないことを認めました。岡田克也副総理は「政府の正式な見解ではない」と言い逃れました。

	1965年	2012年	2030年
総人口	9827	12750	11662
労働力人口	4787	6513	6180
総人口／労働力人口	2.052851	1.957623	1.887055

※総人口、労働力人口の単位は、万人。
〈厚労省試算〉

31日は12:15～12:45 街頭宣伝行動 紀伊国屋書店札幌本店付近で

新婦人 各地で学習、宣伝、「私は言いたい」発信、議員へのFAX行動！

札幌市内では、6月6・8日、15カ所でキャラバン宣伝行動も予定

新婦人では、社会保障と税一体改悪を許さない取り組みを呼びかけ、全道で、学習、宣伝、「私は言いたい」カードの発信、特別委員会や地元国会議員へFAX行動など広がっています。

旭川では、班や小組などでも、消費税のミニ学習、年金問題など社会保障についての学習も行われ、6月には市内6つのブロックで街頭宣伝行動も予定しています。札幌の支部でも、『私は言いたい』発信＆行動宣伝も行われています。若い母親や女性の反応がよく、シール投票や署名をしながら、「中学校の制服が高い」など対話になり、偶然通りかかった新聞読者も「だまっていられないわ」と行動に参加しました。札幌市内では6月6日、8日と15カ所(南区・東区・白石区・手稲区・西区)で、キャラバン宣伝カーも迎えて行う予定です。

また、新婦人では「介護保険制度について『私は言いたい！』」カードを作り、行政へ働きかけを計画中です。「母94歳を介護しています。74歳の娘の私ももうじき介護認定を受けなければならない状況です。保険料も利用料も負担が重いです」「年金が少ないのに介護保険料の負担は重いです」など、深刻な実態や制度改善を求めるメッセージが寄せられています。

5.25 医労連などの国会行動に、北海道から12名が参加

看護科などの大幅増員署名で議員要請 紹介議員になる道内選出議員も

日本医労連などが主催する5.25「署名提出・国会議員要請行動」に、北海道から12名が参加しました。23人の道内選出議員へ「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護の実現」を求める請願署名について協力を要請しました。要請行動前には意思統一集会も行われました。

要請行動では、議員3人と直接話すことができ、松木謙公議員が紹介議員になってくれました。意思統一集会では、ジャーナリストの小林美希さんが「特定看護師」の問題点を指摘する講演を行いました。医師不足を口実に看護師が医師業務の一部を行うことができるようにするもので、責任の所在や安全上で大きな問題が起こると指摘しました。

前日、勤医労は中央社保協の山口事務局次長を講師に「社会保障・税一体改革」について学習し、衆議院特別委員会を傍聴しました。共産党の高橋千鶴子議員が「全日本民医連の手遅れ死調査結果」も取り上げて、高すぎる保険料や滞納者への資格証発行・差押えに触れ、制度の改善を求めました。小宮山大臣は「保険料を徴収するのが仕事です」と冷たい対応に終始しました。

